

図書館の OPAC（蔵書検索）がリニューアルします！

図書館システムの更新にともない2015年3月9日より、OPACが大幅にリニューアルします。見た目が変わるだけではなく、利用可能な機能も増えますので、利便性が格段にアップします！新年度には新OPACの利用説明会等も実施しますので、是非ご参加ください。

OPACのココが変わる！（画面ショットは現段階ではイメージです）



OPAC トップ画面イメージ

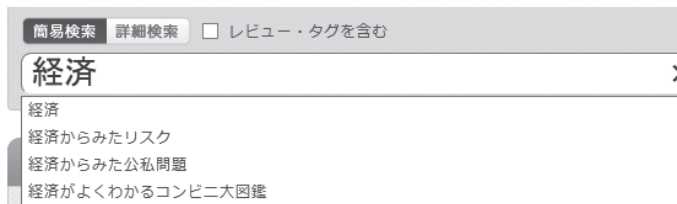
■一度のキーワード入力で、様々な資料検索が可能に！

新OPACではタブを切り替えることにより、図書館所蔵資料だけではなく、論文や各種データベース、学術機関リポジトリ等のコンテンツまで検索可能になります。また、検索窓にキーワードを一度入力すればタブを切り替えてもキーワードは引き継がれますので、ワンストップでの検索が可能となります。



■キーワードのサジェスト機能を搭載！

検索窓に入力した文字で始まるキーワードが自動的に表示されるようになりますので、入力の手間が省けます。



■トップ画面に新着案内や貸出ランキングが表示されます！

現在新着書架にある資料および貸出回数の多い資料のタイトルや表紙画像が、OPACのトップ画面で確認できるようになります。

■ファセットブラウジング機能を搭載！

検索結果件数が膨大で、探しているものが見つげにくい場合でも、著者名や件名、出版年、所蔵館などの項目が絞り込み条件（ファセット）として自動的に提示されるので、簡単に目的の資料に辿り着くことができます！



■レビュー機能を搭載！

例えばAmazonのように、利用者がその資料に対するレビューを登録、共有できるようになります。

■あらすじ・目次情報の搭載！

資料の目次やあらすじをOPAC画面上で確認することができるようになります。

■OPACの検索結果から関連サイトへのリンクが簡単に！

OPACの検索結果画面上に関連情報として、他図書館のサイトや各種データベース、またILL等の各種利用サービスへのリンクを表示します。

■視聴覚資料の一覧をOPACでブラウズ可能に！

従来のOPACでは、配置場所キーを検索項目にした検索ができず、視聴覚資料としてどのようなものを所蔵しているかブラウズしたいという利用者の要望に対応できませんでした。新OPACでは「映像資料（DVDやビデオ等）」と「録音資料（CD等）」のくくりで、OPAC内でリストを提供する予定です。

■タグ検索機能による教科書や学生選書ツアーリストの提供！

配置場所が一か所にまとまっていない教科書や学生選書ツアーで選ばれた資料も、タグ検索機能によりリスト化してまとめて見る事が可能になります。

■スマートフォンアプリの提供！

スマートフォンに専用のアプリを入れることによりカメラ機能を用いたバーコード検索や、プッシュ通知サービスを受けられるようになります（Web画ブラウザでの検索も可能です）。

■SDIアラートサービスを開始します！

事前にタイトルやキーワードをOPACに登録しておくと、例えばお目当ての雑誌が図書館に入った時にアラートが届く設定が可能になります。

■利用情報確認機能の充実！

従来の貸出・予約状況確認や、利用期限の更新、文献複写・貸借（ILL）状況確認の他にも、ご自身の貸出履歴の閲覧が可能になります。またILLの履歴も確認できるようになります。

■分類検索の充実！

従来のNDC（日本十進分類法）に加えて、一部洋書に付与している、LC（米国議会図書館分類表）やDDC（デューイ十進分類法）等が追加されますので、洋書の幅広い検索が可能になります。

その他、ディスカバリーサービス（※）の導入も進めています。

※ディスカバリーサービスとは（用語解説）

図書館が提供する様々なリソースを同一のインターフェイスで検索できるサービスのこと。通常は、OPAC（オンライン蔵書目録）、電子ジャーナル、データベース、機関リポジトリ等、収録対象や検索方法が異なるリソースを使い分ける必要があるが、ディスカバリーサービスにおいては、これらを一括検索することができる。また、高度な検索スキルがなくとも求める情報を容易に入手できるように、使いやすいインターフェイスや、適合度によるソート、絞込み、入力補助などのユーザ支援機能を備えている。

文部科学省、大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－用語解説 http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/attach/1301655.htm（参照2014.11.10）